

59・7月 教育界のうごきから

臨教審法案、衆院で修正可決 参院へ送付、審議はじまる

国会は12日午後の衆院本会議で臨時教育審議会設置法案を政府原案の一部を修正し、自民、公明、民社、社民連四党の賛成で可決した。この法案は13日の参院本会議で趣旨説明が行われ、審議に入った。

校内暴力鎮静化へ向う 58年度・文部省調査

中学・高校の校内暴力事件は、58年度は鎮静化の傾向が見え、対教師暴力は前年度に比べ20%近く減少、生徒間暴力も約15%減ったことが、16日、文部省の校内暴力実態調査でわかった。

また、生徒の出席停止措置は前年度に比べ4割減となり、文部省では「教委や学校現場の生徒指導体制が整ってきた証拠」としているが、なお、総数は4315件に達し、中学では7校に1校の割合で発生、まだまだ安心できないという声も多い。

高校入試の改善、文部省通知 受験機会を2回に、など

文部省は20日、公立高校の入試制度改革のため、各都道府県教委に対し、①各高校が入試を2回行う②推薦入学制度や帰国子女受入れ制度を積極的に導入する——など具体的な改善策に取り組むよう通知した。

教員免許法改正案廃案に

政府・自民党は27日、今国会に提出した教員免許法改正案を廃案とする方針を最終的に固めた。これは同法案に強く反対している社会党、日教組の態度を軟化させることによる臨時教育審議会法案の審議促進を図ろうとするためとみられている。

北方領土教育、全国で 外務省、副読本配布を拡大

外務省は、北方領土期成同盟が、北海道の小、中学生を対象に行っている領土問題の副読本「はくの国 わたしのふるさと 北方領土」を全国規模に広げる方針を固め、来年度予算要求を行う。これは、領土問題が息の長い対ソ交渉となる見通しのため、「数世代にわたる領土問題の正しい理解が必要である」との考えによるもの。

中学浪人倍増603人・東京

東京都教育庁は26日、今春の58年度都内公立中学校卒業者の進路状況を発表した。卒業後、高校進学を希望しながら家庭にいる「中学浪人」は前年度の1.6倍にふえ、これに加え潜在的な中学浪人とみられる定時制生徒も多くなり、この対策が急務とされている。

生徒指導と 特別活動・修学旅行

13

本年八月初旬に、あいついで、「全国特別活動研究協議大会」(於・東京都・日比谷公会堂ほか)、「中学校行事研究全国大会・東京大会」(於・東京都・八潮中学校)、「全日本中学校特別活動研究会・静岡大会」(於・静岡市・市民文化会館ほか)の三つの特別活動の研究会が開催された。

今回は、これらの研究会で発表された内容を紹介しながら、修学旅行を含めて、旅行の行事における最近の傾向や、その在り方をめぐっての改善・工夫の努力などについて、まとめてみたい。

「旅行的行事」改善への工夫・努力

—この夏、特別活動、三つの研究発表大会から—

文部省教科調査官 高橋 哲夫

一、連帯感を高め、日常活動の充実と向上を学校行事・学年委員会を中心とした修学旅行を通して(全特活)

①学年の指導の中で育ってきた「学年委員会(各学級の委員長・副委員長で構成される学年のリーダー集団)の活動を十分に活用する。

②この修学旅行の指導が始まる以前に、一年生次からの班活動を基礎に、学校裁量の時間を活用しての多量の学校行事、年間二〇回以上の学年集会、更に四〇回をこえる学年委員会の活動が行われている。

③生徒の願いを実現する学校行事の在り方「修学旅行特別自主見学を通して」(全中特活)

④自主見学をとり入れることにより、生徒の「かわり意識」が高まるとともに、見学先の内容について「伝説を立て推測する」ことの喜びや楽しさも倍加するようである。

二、自然教室による「みどりの体験学習」(全中行研)

①旅行的行事の特徴 福島県山奥にある「大宮市立少年自然の家」で、三泊四日

②「自主見学」の特徴 ①伝統を守り、無事故でやり直し、自主見学を来年につなげてゆこう、という生徒の意識を支えられている。

③泊を伴う旅行的行事には、必ずといってよいほど、勤労体験学習が組みこまれている。

④野外活動や見学については、問題解決的・問題探求的アプローチが重視されつつある。

⑤この学校の具現化のために、自主見学が生まれたが、具体的には、〇「自分達の手で修学旅行を遂げた」という成就感をもたせる。〇「日本の行動で苦楽を共にして生徒同士の人間関係を深める。〇修学旅行の事前学習を通して主体的に学ぶ力を育てることをねらいとしている。

⑥「自主見学」のねらい ①本校では、従来から、生徒を諸活動に主体的に参加させ、実践活動を通しての体験の中から自ら学ぶ力をつけさせ、生徒間の連帯感や協力を育成するなかで、豊かな創造性を養うことを学校の重点目標としてきた。

⑦「自主見学」のねらい ①「自主見学」のねらい ①本校では、従来から、生徒を諸活動に主体的に参加させ、実践活動を通しての体験の中から自ら学ぶ力をつけさせ、生徒間の連帯感や協力を育成するなかで、豊かな創造性を養うことを学校の重点目標としてきた。

⑧「自主見学」のねらい ①本校では、従来から、生徒を諸活動に主体的に参加させ、実践活動を通しての体験の中から自ら学ぶ力をつけさせ、生徒間の連帯感や協力を育成するなかで、豊かな創造性を養うことを学校の重点目標としてきた。

⑨「自主見学」のねらい ①本校では、従来から、生徒を諸活動に主体的に参加させ、実践活動を通しての体験の中から自ら学ぶ力をつけさせ、生徒間の連帯感や協力を育成するなかで、豊かな創造性を養うことを学校の重点目標としてきた。

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。 静寂のなかに憩いのひととき。



〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460-4-8595(代表)

修学旅行のお宿に 全館を開放

- 延暦寺会館本館
- 別館比叡
- 延暦寺会館第1別館 収容 600名様
- 延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分でのコースへ
☆頭がよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

〈国際観光旅館〉
比叡山 **延暦寺会館**
TEL 0775-78-0047・0554
TELEX 5464-917

楽しい船の体験旅行

東京湾内洋上教室

たくましく活動する臨海工業地域や、美しい自然を残す海岸地域など、ふだん教室では学びにくい海洋、船舶、歴史、地理、生物等についての生きた教材を大型客船を利用して積極的に学習する新しい企画です。

特長

- 各学年単位で大型船が利用できます。
- 貸切形式のため他校との混乗はありません。
- バスを利用した校外学習程度の費用で実施できます。
- 東京湾内の航行のため船酔等の心配は一切ありません。
- 社会科見学、遠足、卒業記念等、各学年にわたりご利用できます。

料金
高校生(1名)2,200円 小・中学生(1名)1,700円

期間
昭和59年9月~11月・60年1月~3月

洋上体験旅行

船の旅ならではの広い生活空間と時間的ゆとりを学習の場として最大限活用し、外界から独立して船内生活を通じ、生徒同士、又は教師と生徒との相互理解を深めることができます。

モデルコース
鳥羽・高松・白浜

第1日 東京19:00発~~~~船中泊
第2日 ~~~8:00鳥羽着(鳥羽観光)——鳥羽17:00発~~~~船中泊
第3日 ~~~9:00高松着(高松観光)——高松21:00発~~~~船中泊
第4日 ~~~8:00白浜着(白浜観光)——白浜17:30発~~~~船中泊
第5日 ~~~17:00東京着

●貸切船です。その目的地、航路は国内ならどこへ自由に設定できます。日程・コース、費用等につきましては、お問い合わせください。



伊豆七島移動教室

大型客船から双胴高速船まで、「海洋国家」日本の技術の粋を集めた船舶との出会い、そして太平洋に浮かぶ離島、伊豆七島との出会い。生徒たちは、ハイキング、バスハイク等を楽しみながら、地学、植物学、動物学、民俗学の生きた教材にふれることができます。

費用概算

大島●三原山裏砂漠ハイキング(夜行日帰り)
1名5,200円(往復2等船賃、バス代、休憩・朝食代、資料歩道代等)

大島●全島一周バスハイク(夜行日帰り)
1名6,000円(往復2等船賃、バス代、休憩・朝食代、ハイテク物入園料、資料歩道代等)

三宅島●火の山峠ハイキング(夜行日帰り)
1名6,800円(往復2等船賃、バス代、休憩・朝食代)

三宅島●全島一周バスハイク(夜行日帰り)
1名7,000円(往復2等船賃、バス代、休憩・朝食代)

※この他、バードウォッチング、サイクリング、牧場体験などができます。

●大島、三宅島以外の新島、式根島、神津島、八丈島でも、島内宿泊を伴うのであれば移動教室として可能です。詳細はお問い合わせください。

●お問い合わせは—
東海汽船営業課学校係 ☎03(436)1144又は貴校指定旅行代理店まで

心にとほる船の旅 **東海汽船**